

親子で田んぼの生きもの観察会

日 時：2020年7月19日（日）

場 所：農家民宿ほろろん

（京都市右京区京北大野町廣畑 45）

天 候：晴れ

参加者：小学生 10 名 幼児 4 名 大人 5 名
スタッフ 8 名



水車小屋とビオトープ



【農家民宿ほろろん】は築推定 220 年とも

前週まで大雨による国道の通行止めがあり、開催も危ぶまれましたが、当日は小学生 10 人、幼児 4 人、大人 5 名の参加者に noi-kyoto スタッフ 8 名が新型コロナの感染予防で 2 グループに分かれて実施しました、

会場は上桂川沿い、常照皇寺のお膝元の茅葺き屋根の農家民宿周辺。この水車のある無農薬の田んぼと、近くにある地元 NPO が整備した蓮や水蓮の花が美しいビオトープを観察地にしました。



虫取り網を持った少年たちは、まずさなぎから孵ったばかりのアブラゼミを発見。その後、田んぼの周りでウラギンヒョウモン（蝶）を捕まえたり、アキアカネの掴み方を教わったりしていました。

さらに田んぼに近づくと、カエル取り競争です。虫かご一杯のカエル達。トノサマガエルやニホンアマガエル、カジカガエルがいました。最後はみんな帰ってもらいましたよ。

田んぼのまわりでカエルや虫を見つけました



女の子達は、草花あそび。カヤツリグサの占い、蓮華の花飾り、チドメグサの絆創膏。おままごとに出るね。



カヤツリグサの両端を2人で裂いてみると…



カヤツリグサできれいな四角形になりました

田んぼを覗くと、イチョウウキゴケ（環境省準絶滅危惧種）が。オモダカの花が咲いています。

移動して、蓮のビオトープへ。ここでは、蓮の葉をいただいて、こども達は泡吹きにチャレンジ。みんな成功したかな？ チョット苦いぞ（笑）

「ぼく知ってるー」と蓮のレンコンがわかる地元っ子もこれには興味津々。

ビオトープの周りで一際目立つ半夏生（ハンゲショウ）。農家民宿のおじさんは「『ハゲッショ』」と言うて、これが咲く頃、田植えが終わるいうて餅を食べた」とおっしゃられてました。



蓮の茎を下から吹くと葉の上にある水がブクブク。みんな興味津々でした



【イチョウウキゴケ】



白が目立つ【ハンゲショウ】

水蓮の咲く小さな池では、アカハライモリやミズカマキリ探しをしているこどもたち。こどもは本当に生きものが好きだなあ。

今回の観察会では、地域の自然の恵みを同時に味覚でも感じてもらいたいという思いで、お昼には地元のお母さんが、畑の恵みを詰め込んだ滋味深いお弁当を作ってくれました。

自然とともにある人の営みがこの先も続きますように。この地を通過する北陸新幹線の計画の行方にも思いを巡らす1日となりました（川勝）